

『買うならエコ！』って？

『買うならエコ！』それがグリーン購入です。グリーン購入とは、購入の必要性を十分に考え、できるだけ環境への負荷の少ない製品やサービスを優先的に選んで購入することです。例えば、旬の食材を買う、詰め替え式の洗剤やシャンプーを買う、家電製品を買うときは省エネタイプを選ぶなど、誰にでも、すぐに取り組めることがたくさんあります。

汚してしまった環境をもとに戻したり、出してしまったゴミを処理するのは大変なこと。環境問題を、出口ではなく“入口”で解決しようとするのが、グリーン購入の考え方なのです。



◆環境課
☎ 587 - 6003
FAX 587 - 3834

さあ、あなたも身近なところから「エコ」。 グリーン購入をはじめませんか？

◎マイバックを持って行きましょう

もらってもゴミになるレジ袋はことわりましょう。

◎包装の無いもの、少ないものを選びましょう

できるだけバラ売りの商品を選べば、ゴミを減らせます。

◎メモを持参して、ムダなものは買わないようにしましょう

「必要なものを必要なだけ」買うようにしましょう。

◎使い捨て商品より、繰り返し使えるものを選びましょう

たとえばリターナブルびん、充電式の乾電池などは環境にやさしいといえます。

◎長く使えるものを選びましょう

流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買うように心がけましょう。

◎詰め替えできる商品を選びましょう

シャンプーやリンス、洗剤など、詰め替え式の商品を選ぶようにしましょう。

◎「環境ラベル」を参考にして、商品を選びましょう

《環境ラベルの一例です》



エコマーク

ライフサイクル全体を考慮して環境に配慮した商品につけられます。



グリーンマーク

古紙を原料とした商品につけられます。



牛乳パック 再利用マーク

使用済み牛乳パックを原料とした商品につけられます。



間伐材マーク

間伐材を用いた製品につけられます。



毎月第4土曜は 廃食油回収の日

9月28日午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近
回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶
問環境課 ☎ 587 - 6003、エコロジーマーケットやすの会・増村 ☎ 586 - 1441

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

(108)



銅鐸発見時の想像図（部分）
安芸早穂子画

日本最大銅鐸 初の里帰り

1881（明治14）年8月20日午後3時頃、野洲市小篠原の大岩山で、2人の少年が銅鐸を発見しました。地元より草津警察署へ提出された「唐金古器物」の発見届によると、山遊びに行った辻町村の小野田金太郎さんと森岩松さんが3個を発見し、翌日に小篠原村の大人4人が11個を掘り出し、計14個が見つかりました。

その後、東京帝室博物館（現・東京国立博物館）が、日本最大の銅鐸と鳥の絵がある銅鐸の2個を購入し、残り

12個は発見者へ払い下げられました。しかし、これらは残念ながら散逸し、地元には残っていません。一部は海外の美術館にあり、2個は行方不明のままです。

当時、地方に文化財を保持する制度や施設はなく、明治政府が国の政策によって、貴重な文化財が失われないように全国から収集し、保持しようとしたわけです。野洲市で発見された銅鐸もそのひとつで、日本の歴史上、代表的な出土品として、百年以上にわたり保存し、今日まで多くの人々が観覧してきたことに大きな意義があると思います。しかし、この銅鐸は最重要資

料であり、これまで貸し出しが許可されませんでした。今回、東京国立博物館の特別協力により、出土地である野洲市での展示公開が、初めて実現することになりました。

銅鐸博物館は、1988（昭和63）年11月1日、野洲町立の歴史民俗資料館として開館し、今年で25周年を迎えます。野洲市のキャラクター「ドウタクくん」もこの時に誕生し、まもなく25歳になります。開館当時、野洲町は「銅鐸のまち」としてその名を全国に発信し、歴史と文化のまちづくりを大きく掲げていました。「銅鐸博物館」の愛称はその後も引き継ぎ、銅鐸を中心に、地域のさまざまな歴史を紹介しています。

開館記念の展覧会には、ほとんどの銅鐸が里帰りしましたが、最大銅鐸だけは複製品（レプリカ）による展示とな



日本最大の銅鐸
高さ 134.7 cm・重要文化財
(写真提供：東京国立博物館)

り、今まで常設展示で紹介してきました。ロビーにある輝く銅鐸は、開館10周年記念に制作した実物大の铸造復元品で、造られた当時の姿を再現したものです。こちらは、自由にふれたり記念撮影をしたりして楽しめます。

で、まつりのカネとして用いられました。やがて大型化、装飾化し、鳴らすものから見るものへと変化していきますが、今なお多くの謎を秘めています。日本最大の銅鐸は、学校の教科書や歴史の本によく掲載され、全国的にも知られていて、弥生時代の社会や文化を考えるうえで貴重なものです。

開館25周年記念展では、長年の念願であった銅鐸の里帰りがついに実現します。市民の皆さんは無料で入館できますので、この機会にぜひご覧ください。

（博物館学芸員 行俊勉）

【休館日】▽月曜日（祝日は開館）、17日・24日
▽9月3日～5日、10月3日～4日（館内殺虫作業・展示替のため臨時休館）※市民は入館無料、講演会は当日受付・定員120名

◆テーマ展「古代・中世の出土銭貨」

／9月29日(日)まで

◆古代講演会／9月21日(土)午後2時～4時
「古代野洲郡の寺院と役所」小笠原好彦さん（滋賀大学名誉教授）

◆開館25周年記念展「銅鐸～日本最大銅鐸の里帰り～」／企画展「野洲川の歴史と文化」10月5日(土)～11月24日(日)

◆第70回銅鐸研究会／10月6日(日)午後2時～4時「大岩山銅鐸と銅鐸研究のあゆみ」井上洋一さん（東京国立博物館）

◆企画展記念講演会／10月27日(日)午後2時～4時「野洲川下流域の古代文化—大岩山銅鐸から見えてくるもの—」大橋信弥さん